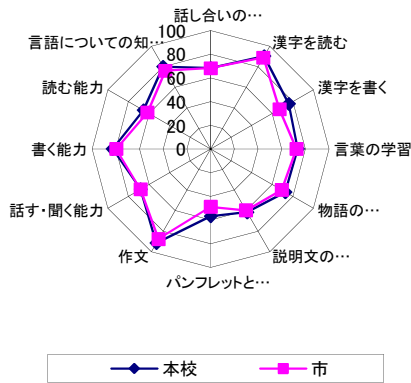


宇都宮市立緑が丘小学校 第6学年【国語】問題の内容別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
問題の内容別	話し合いの内容を聞き取る	68.2	68.2
	漢字を読む	90.3	89.0
	漢字を書く	76.0	67.0
	言葉の学習	73.5	72.3
	物語の内容を読み取る	72.7	69.2
	説明文の内容を読み取る	61.6	59.8
	パンフレットと話し合いの内容を読み取る	56.6	48.9
	作文	91.7	87.8
観点別	話す・聞く能力	68.2	68.2
	書く能力	82.7	79.5
	読む能力	65.4	61.5
	言語についての知識・理解・技能	80.2	76.2



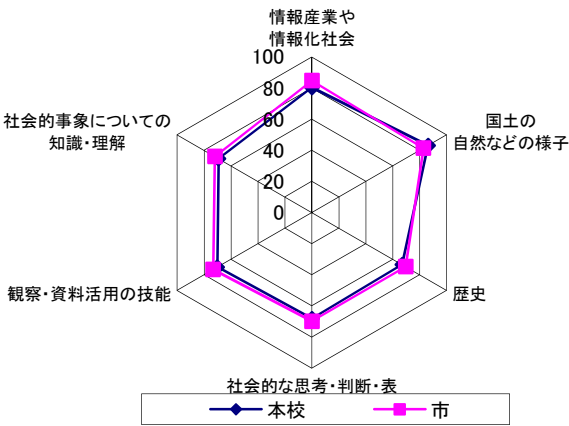
★指導の工夫と改善

問題の内容	本年度の状況	今後の指導の重点
話し合いの内容を聞き取る	・正答率は市平均と同程度である。 ・話し手の意図や工夫を考えながら、話の内容を聞くことができる。	・司会者の役割を理解して、適切な言葉づかいで話すことができるよう、場に応じた支援をしていく。
漢字	・「漢字を読む」の正答率は、市平均と同程度であり90.3%と高かった。 ・「漢字を書く」については、市平均を9%上回っている。	・漢字の学習では、学年配当の漢字の習得とともに、前学年の漢字を復習させるようにする。 ・朝の学習や家庭学習において、繰り返し練習させるようにし定着を図る。
言葉の学習	・正答率は市平均を1.2%上回っている。 ・敬語(謙譲語)の使い方についての正答率は、市平均を6.4%上回っている。	・国語や会話科の授業で、俳句や百人一首に触れたり、朝の学習で音読集に親しんだりすることにより、日本語の美しさや言葉の使い方などに興味をもたせるようにする。 ・日常生活の場面で常時指導し、正しい敬語が使えるようにしていく。
物語の内容を読み取る	・正答率は、市平均を3.5%上回っている。 ・登場人物の様子を読み取る問題の正答率は、市平均を11.2%上回っている。	・朝の読書の時間や読み聞かせの時間を確保し、いろいろな本に接する機会を作る。 ・国語の学習の時間には、文学教材の作品の作者や関連する本を紹介し読書意欲を高めるようにする。
説明文の内容を読み取る	・正答率は、市平均を1.8%上回っている。 ・文章の内容を読み取る問題では、市平均を上回っているが、文章の構成を的確に押さえながら読み取る問題では、市平均を4.3%下回っている。	・説明文の学習では、文章の組み立てに注意して読み取るようにさせる。 ・「問いかけの文」に対する答えの文が、どの段落にまとめられているか、接続語に着目させながら的確に把握させるよう丁寧に指導する。
パンフレットと話し合いの内容を読み取る	・正答率は市平均を7.7%上回ってはいるものの、56.6%と低い。 ・資料と話し合いの内容を正しく読み取って考える問題では、市平均を13.1%上回っている。	・朝の会や帰りの会での話を聞く場面や、日常生活の中にある情報に接する際に、話し手や書き手の意図をくみ取ることの大切さを意識づけるよう、継続して指導していく。
作文	・正答率は市平均を3.9%上回っており、91.7%と高かった。 ・自分の意見とその理由を区別して書くことは90.3%で、市平均を4.6%上回っている。	・文章の書き方のパターンを習熟させ、指定した文章の長さや段落構成で書かせる機会を意図的に設ける。 ・作文が不得手な児童には、個別に支援し苦手意識を克服させる。

宇都宮市立緑が丘小学校 第6学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	情報産業や情報化社会	80.3	84.7
	国土の自然などの様子	86.2	82.7
	歴史	66.9	69.5
観点別	社会的な思考・判断・表現	68.2	69.9
	観察・資料活用・技能	70.2	73.3
	社会的事象についての知識・理解	69.2	71.9



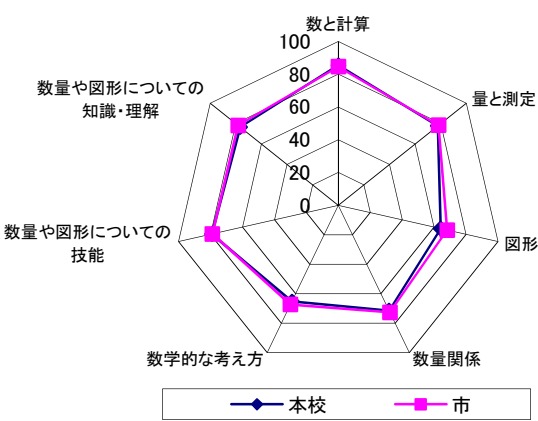
★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
情報産業や情報化社会	・正答率は、市平均を4.4%下回っている。メディアの種類とその特色の理解や、情報ネットワークについての考察の正答率が低かった。	・5年生の内容の定着が十分でない児童が見られるので、学習プリントでの復習や情報教育の充実を図りたい。
国土の自然などの様子	・正答率は、市平均を3.5%上回っている。環境を守る取り組みについての判断がよくできていた。	・本校での環境教育や、総合的な学習の時間での取り組みなどで、児童の環境に対する関心や理解が高まっている。引き続き学校教育活動の中で、関連を図りながら、環境教育を進めていきたい。
歴史	・正答率は、市平均を2.6%下回っている。室町時代の文化遺産と歴史人物との結びつきについての回答や、書院造の特徴についての記述の正答率が低かった。また、江戸時代の文化と学問についての正答率も低かった。	・史跡や文化財について、歴史人物の業績と関連付けながら理解を深められるように、デジタルコンテンツを利用したり、学習プリントを活用したりして、知識理解の定着を図りたい。

宇都宮市立緑が丘小学校 第6学年【算数】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	数と計算	85.5	84.6
	量と測定	77.7	78.3
	図形	64.1	68.2
	数量関係	71.4	72.6
観点別	数学的な考え方	65.2	67.3
	数量や図形についての技能	79.2	78.9
	数量や図形についての知識・理解	76.6	78.2



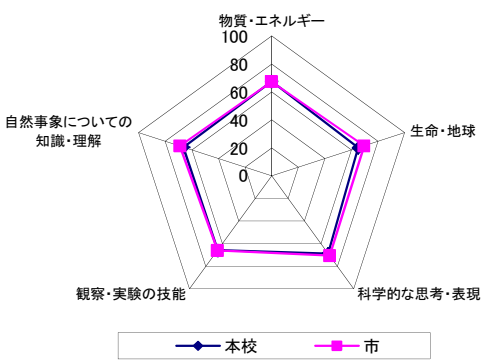
★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	- 正答率は85.5%で、市平均とほぼ同じである。 - 分数÷整数(約分あり)の正答率が90.8%で、市平均を2%下回った。 - 図を使って、分数の除法の文章問題に合った式を選ぶ問題では、正答率が35.7%で7.2%下回った。	- 朝の算数スキルの時間などを通して、引き続き計算力の向上に努める。 - 授業において、分数の理解を深め、立式の考え方を再確認するような時間を意図的につくっていきたい。また、分数や整数、小数にしても、立式の意味は変わらないので、簡単な整数に置き換えて考えるように指導したい。
量と測定	- 正答率は77.7%で市平均とほぼ同じである。 - 速さの単位の関係を理解し、時速を分速に直す問題では、正答率が50%で市平均を2.2%下回った。 - 平行四辺形の面積を求める問題では、正答率が68.4%で市平均を5.2%下回った。	速さや面積、体積を求める公式を完全に覚えていない児童がいるので、授業や算数スキルの時間を利用して復習にあたりたい。
図形	- 正答率は64.1%で、市平均を4.1%下回った。 - 線対称な図形の対応する点を見つける問題では、正答率が38.8%で市平均2.4%下回った。 - 円の半径から円周を求める問題では正答率が36.7%で市平均を4.4%下回った。	- 線対称の学習では、対称の軸について再度復習をする。 - 対称の軸は、折り曲げた時に対称線だけでなく辺の間でも重なることがあるので、気を付けさせたい。 - 円の問題では、円周を求める公式と円の面積を求める公式を再度確認し、復習をする。
数量関係	- 正答率は71.4%で、市平均より4.4%下回っている。 8:2と等しい比を選ぶ問題では、正答率が38.8%で2.5%下回った。 - 文字を使って2つの数量の関係を式に表す問題では、正答率が70.4%で市平均より9.3%下回った。	- 算数スキルの時間や授業の時間を活用し、比例、反比例について再度、復習する。このとき、ともなって変わる二つの数量について対応や変化の特徴を明らかにすることや、対応や変化の特徴をとらえるために、数量の間の関係を表やグラフ、式に表に表すことを指導する。 - 百分率の問題では、生活場面に関する問題を与え、児童に作問させることによって生活の中で割合を使えるようにする。

宇都宮市立緑が丘小学校 第6学年【理科】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	物質・エネルギー	67.7	67.3
	生命・地球	65.0	69.5
観点別	科学的な思考・表現	68.6	70.6
	観察・実験の技能	65.7	65.9
	自然事象についての知識・理解	66.3	69.0



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
物質・エネルギー	・正答率は、市平均と比べて0.4％高くなっている。 ・「ふりこのきまり」の1往復する時間の求め方を考える問題では、市平均・本校平均ともに正答率が約50％と低い。 ・「もののとけ方」の正しいろ過の仕方を考える問題では、市平均正答率が61.2％に対して、本校の正答率は69.4％と高くなっている。 ・「ものの燃え方と空気」の空気が入れ替わらないところではものが燃えない理由を説明する問題では、市平均が84.7％に対し、本校は80.6％と低くなっている。 ・「水よう液の性質とはたらき」のどの問題においても、市平均・本校平均ともに約30％の正答率となっていて低い。	・この領域については、思考・判断の問題の誤答が多いことがわかった。よって、授業においては、実験の結果から分かったことを考察する時間を十分に確保し、児童自らが結論を導き出すことが重要であるとする。 ・単元の終わりには、まとめとふりかえりの時間をとり、再度、実験で行ったことを知識として獲得させていきたい。
生命・地球	・正答率は、市平均と比べて4.5％低くなっている。 ・「人のたんじょう」の問題では、「子宮」と解答できた児童が市平均より3.9％低かった。 ・「動物のからだのはたらき」の問題では、「消化液」と回答できた児童が市平均より約10％正答率が低かった。 ・「太陽と月の形」の太陽と月の位置関係から月の形を判断する問題では、市平均が40.8％に対して、本校では27.6％と13.2％も低い正答率となった。	・この領域においては、資料などを用いた調べ学習が中心となるので、インターネットや映像などを活用して視覚的に学習するようにしていきたい。 ・また、太陽・地球・月の学習では、模型を使って視覚的に学習させるようにしたい。